資料 4

ISO9001活用工事支援システム

(請負者の品質マネジメントシステム運用状況把握のためのシステム)

操作マニュアル

2005 年 2 月 15 日版 Ver.1.01 マニュアル Ver.1.01 システム

一目次一

<u>1. システムの概要</u>

1.1 システムの目的	
1.2 システムの機能	
1.3 システムの動作環境	
1.4 システムのファイル構成	

<u>2. システムの操作</u>

2.1 システムのインストール	
2.2 システムのアンインストール	
2.3 システムの起動と終了	
2.4 システムを利用した業務の流れ	
2.5 処理フロー ・・・	4-11
2.6 計画の把握に関する把握票の作成	
2.7 運用状況の把握に関する把握票の作成	
2.8 段階確認代替時の把握票の作成	
2.9 設計変更時の把握票の作成	•••••• 4-31
2.10 その他の機能	•••••• 4-34

<u>把握票記入例</u>

<u>3.サポート連絡先</u>	•••••• 4-47
------------------	-------------

1. システムの概要

1.1 システムの目的

本システムは、請負者のISO9001品質マネジメントシステムを活用して、監督員の業 務を効率的に実施するため、工事情報の管理と付随する各種把握票を管理出力する システムです。把握票の出力は新土木工事積算体系に基づいて作成された設計書の 項目(工事項目:大区分、工事区分、工種、種別、細別)を選択することで簡単に作成 できます。

1.2 システ	テムの機能
分類	機能概要
把握票の仕様	出来形、品質、写真、 段階確認 の各把握票を出力
加提再生代	工種、種別、細別を順次選択することで、把握項目を絞り込み把握
	票を生成する
	・把握票のフォーマット変更および編集機能
毎年再の	押印欄の編集
加強宗の	不要な管理項目や測定項目の削除
· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	把握結果の書き込み
	・把握票出力時のデータ自動反映機能(工事名称、工事項目名)
	 ・工事情報管理機能(年度、工事名称、計画書版)
データ管理機能	・工事情報のコピー機能
	・編集した把握票の保存機能

1.3 システムの	D動作環境	
	最低	推奨
対応 OS	Windows98,	Me,2000,XP
CPU	Pentium3 600MHz 以上	Pentium4 1.5GHz 以上
メモリ	128MB以上	512MB 以上
ハードディスク空き容量	本システム用に 300MB(作	=成データにより増加)
画面解像度	1024×768	1280×1024
プリンタ	A4 横の印刷が可能で左右	石の余白を 3cm 以下
必要なアプリケーション	Microsoft EXCE	L2000,2002,2003

1.4 システムのファイル構成

本システムのファイル構成は次の通りです。

((インストール先)¥ISO9001活用工事支援	システム.xls(プログラムファイル)
	¥マスタ¥	(マスタ用 EXCEL ファイル)
	¥写真確認¥	(写真確認用 EXCEL ファイル)
	¥写真把握¥	(写真把握用 EXCEL ファイル)
	¥出来形確認¥	(出来形確認用 EXCEL ファイル)
	¥出来形把握¥	(出来形把握用 EXCEL ファイル)
	¥段階確認¥	(段階確認用 EXCEL ファイル)
	¥品質確認¥	(品質確認用 EXCEL ファイル)
	¥品質把握¥	(品質把握用 EXCEL ファイル)

※作成したデータのデフォルトの保存先はインストール先フォルダの直下となっており ます。

2. システムの操作

2.1 システムのインストール

インストールCDを入れると、自動的にインストーラが起動されます。起動されない場合は、CD内の「setup.exe」をダブルクリックして起動してください。



インストールを開始する場合は、[次へ]ボタンを押します。



「インストール先のフォルダ」の指定画面が表示されます。

デフォルトのインストール先は "C:¥Program Files¥ISO9001 支援システム"となります。

インストール先を変更する場合は[変更]ボタンを押し、インストール先を選択します。

岩ISO9001活用工事支援システム - InstallShield Wizard	×
インストール先フォルダの変更	
インストール先フォルダを参照してください。	1000
探す場所(上):	
☆ [509001.	• • •
' フォルダ名(E):	
C:¥Program Files¥ISO9001¥	
Install5held	
04	く キャンセル



[インストール]ボタンを押してインストールを開始してください。インストール先を変 更する場合は[戻る]ボタンを押してください。[キャンセル]ボタンを押しますと、インス トールを中止します。



システムファイルをコピーします。

下の画面が表示されると、インストールは終了です。



[完了]ボタンを押してインストールを終了してください。

Windows のスタートメニューに「ISO9001 活用工事支援システム」が登録されている ことを確認してください。



2.2 システムのアンインストール

システムのアンインストールは Windows のスタートメニューから

	🖮 ISO9001活用工事支援システム	🛛 🕵 システム アンインストール
🏄 スタート	すべてのプログラム(<u>P</u>) ▶	
を選択し、実	施します。	

※ コントロールパネルからも実施可能です。

] — [プ	プログラムの通	追加と削除]
,	·] — [=	, _] - [プログラムのii

(Windows98,Me,2000 では"アプリケーションの追加と削除")から実施します。

	イズ	<u>71.86MB</u>
<u>サホート情報を参照するには、ここをクリックしてください。</u> (使用)	則夏	ഥ
コンピュータからこのプログラムを削り除するには、開り除]をクリックしてください。		削除

[削除]ボタンを押すとアンインストールが実施されます。

2.3 システムの起動と終了

(1)システムの起動

Windows のスタートメニューより、「プログラム-ISO9001 活用工事支援システム」をク リックすると、システムが起動されます。本システムはEXCELのマクロで作成されてい ますので、通常は下のマクロ確認画面が表示されます。

Microsoft Excel	? ×
'C:¥Program Files¥ISO9001支援システム¥ISO9001活用工事支援システム×Is' は を含んでいます。	םלק
マクロにはウイルスが含まれている場合があります。通常、マクロを無効にすると安全で が、マクロが適正な場合、機能が使えなくなります。	ਰ
マクロを無効にする(D) (マクロを有効にする(E) 詳細(M)	

[マクロを有効にする]ボタンを押します。

※システムを起動する前に他のEXCELシートを開いている場合は閉じることをお勧め します。本システムを終了するまでは他のEXCELシートはご利用できませんので、御 注意ください。



タイトル画面が表示されます。本システムでは起動時にマスタデータを読み込むた め少し時間がかかりますが、しばらくして初期メニューが表示されます。

※起動中はマスタデータ用EXCELファイルを読み込むため、自動的にEXCELシートが最小化されて開いたり閉じたりしますが、問題はありません。

新規工事作成	既存工事検索
	新規工事作成

初期メニューから[新規工事作成]又は[既存工事検索]を選択し作業を開始します。

(2)システムの終了

システムを終了するときは、初期メニューより[閉じる]ボタンを押します。

初期メニュー			X
新規	工事作成	既存工事検索	
設定		開日	ā

確認画面が表示されますので、[はい]を選択すると終了します。

ISO9001;	き用工事支援システム終了処理
1	ISO9001活用工事支援システムを終了します。ブックを閉じますか?



2.4 システムを利用した業務の流れ

2.5 処理フロー



(2)請負者の品質マネジメントシステムの把握に関する把握票の出力 (工事着手後)

(A)システムの起動		
(B)当該工事の検索	- <u>[</u>	
(C)施工段階の把握票の表示出力	-Ç	
(D)把握票に確認結果を入力、印刷	-Ç]
(E)把握票の保存	-Ţ]
(F)システムの終了]

2.6 計画の把握に関する把握票の作成

(1)新規工事情報の作成

初期メニューより[新規工事作成]ボタンを押します。

新規 工 争作53、	以任工事	MTE 75	

工事情報を入力します。



(a)「年度」を選択又は入力します。

(b)「工事名称」を入力します。

(c)「計画書版」:設計変更の回数(当初設計は0とする)を選択します。 (d)[作成]ボタンを押します。

※既に存在する工事情報を設定した場合、作成エラーとなります。

把握票管理画面が表示されます。

把	握票管理画面	5				X
	年度	平成16年度				
	工事名称	 ○×△工事			工事名称変更	
	計画書版	0			工事情報のコピー	
	 工事着手 	戶前 ○ 工事着手後	把握票種別		•	新規把握票作成
	大区分	工事区分	工種	種別	細則(入力可)	 把握票コメント(ファイル名)
	作成済み把払	」 握票				I
	表紙(計画(トレーサビリラ 検査・測定)	の把握) ディ管理(計画の把握) 及び試験装置管理(計画 読み(計画の把握)	i			HC_表紙(計画の把握)×は HC_トレーサリティ管理(計画の把握)× HC_検査・測定及び試験法置管理(計 HC_内部品質繁査(計画の把握)×は
	編集		削除		5	

工事情報の新規作成時に以下の把握票が自動的に生成されます。

◆工事着手前(計画の把握)

表紙

トレーサビリティ管理

監視機器及び測定機器の管理

内部監査計画

不適合管理及び是正処置

◆工事着手後(運用状況の把握)

表紙

トレーサビリティ管理

監視機器及び測定機器の管理

内部監査結果

不適合管理及び是正処置

(2)工事着手前における新規把握票の作成

	把握票管理画面	
	年度 平成16年度	
	工事名称 ○×△工事 工事名称変更	
	計画書版 0 工事情報のコピー	
(a)	 ○ 工事着手前 ○ 工事着手後 把握票種別 品質 新規把握票作成 	
(b)	大区分 工事区分 工種 種別 細別(入力可) 把握票コメント(ファイル名)	(c)
(0)		
	100%月の近24点 表紙(計画の把握) トレーサビリティ管理(計画の把握) 検査・測定及び試験装置管理(計画 HC 検査・測定及び試験装置管理(計画	
	内部品質監査(計画の把握) HC」内部品質監査(計画の把握)×18	

(a)「工事着手前」を選択し、把握票作成種別を選択します。

(b)大区分~細別の工事項目を選択します。

(c)[新規把握票作成]ボタンを押します。

(d)把握票が作成され EXCEL ファイルとして出力されます。(次頁へ)



把握票シートを閉じると把握票管理画面に戻ります。

く注意>

EXCEL画面右上の×及び「ファイル(F)」メニューから「終了(X)」を選択しますと EXCEL 自体を終了させ、本システムも終了してしまいます。御注意ください。

(3)把握票の編集

牛度 平成16年度 工事名称 〇×△工事 工事名称変更	
計画書版 0 工事情報のコピー	
 ○ 工事着手前 ○ 工事着手後 把握票種別 品質 新規把握票作成 	
(a) 大区分 工事区分 工種 種別 細別(入力可) 把握票コメント(ファイル名) 河川改修 「菜埕•講岸 「河川土工 「掘削工 「掘削(土砂) 「	
作成済み把握票 HC表紙(計画の把握) 表紙(計画の把握) HC、表紙(計画の把握) トレーヤリフィ管理(計画の) HC、トレーサリティ管理(計画の) 検査・測定及び試験装置管理(計画) HC たしーサリティ管理(計画の) 検査・測定及び試験装置管理(計画) HC 検査・測定及び試験装置管理(計画) 内部品質監査(計画の) HC 内部品質監査(計画)の把握) 品質 河川改修 築堤・議岸 河川土工 振削工 振削工 振削工 振削	驻屋):) 里(計 ∴×ls
(b) 7	
編集 削除 閉じる	

(a) 把握票管理画面より「工事着手前」を選択

(b)「作成済み把握票」を1つ選択します。

(c)[編集]ボタンを押します。

EXCEL ファイルとして把握票が出力されます。(次頁へ)

1001		a 🖾 🔁		•	₹₽校開	同結果(动居信心			* 2 2 ?) 12 ▼ <u>U</u> ≣ ⊞	1 00	⊞ + 3	* _	1 - 0	2	_
	図形の調整	¥(B) - D	オートシ	ェイプ(山) ー	1 1				: 1	🛯 🕭 • 🔟 • 🗛 • i	= = = □						
	F1		+	fx							- 10 - 70						
	A	BC	DE	F	G	н	1 .	JK	L	М	N (P	Q	R	S	Т	U
	1 工事名科	FOOT事						_	_				_	樽	REA-Z		
	2 1			-		-	D 55	aa - m =	1 			-			聖香典		
-	3 / 1			-	-	-	而買	官理言	T画の把	握 祟 (チェックリスト)							
	4			-		-			-	1							
X	· IFES	(1~11)	発従・護圧			-											
	7 単離離	薙実		1	-							-					
	8 - 7 ¥	認施															
	9 12 11	デ祝								管理基準及び規格値			監督職員の記	入項目			
	▶ 月祝	時	H IN	1191	19191												
	1	AN .	著 [レベル2 版) (LANDA)	16~14	加亏											
	2 22	\sim						学验话日	学龄方法	相捻储	新時業准	相当务	不差切な計画 におま 7時間	###H	救正		
	3 7		\mathbb{N}						BURKING	NETO ILL	BOWE+	記録の 古張	\$-3		把握目		
	4		1														
	5 🗹		WAN EL	HEM T	Han(Tab)		9	31-34年士工	-		International Action			_			
	6	-		-			33			KONG M. I.E.	Same Distances,						
	7			-	-	-	91	5 12	115 ¥ 1216		-			_	-		
	8	-		-		-		土の約4月		教授初春に上る。	SALU-LINELLER.	-		_	-		
-	9	-		-		-		教	119 % 124	教授初春に上し、	5万点は土井の広むしため,	-					
	:0			-				由料金 土の合本均	119 4 1205	教育想象に上し,	5万点の上町の改良した時,	-					
				1	-	1		が会 土の物が土田	JI2 & 1299	教授想事に上の。	STARLANDELLER,	-		-			
	3			1			977 143	は 土の一種語	112 A 1210	秋井切事に上を。	5次点は上町の広白しため,	-					
	4						D.B	17 ING		# 教鮮想事に上の。	Sestaur,						
	5							土の住まが	112 A 1217	教授初春に上た。	Settor,			-			
	6							10th	土田が設わた後とき	(法) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	Besteur,				1		
	7							土の道水戸	119 A 1210	教育営業に上る。	Bestant,						
	8																
	9											【育:0	朱 :×>				
	:0						1.000										

EXCEL ファイルとして任意の編集及び保存が可能です。

※工事名称及び[把握票管理画面]で設定した工事項目を把握票に出力します。

把握票へ把握結果を入力します。



(a)「監督職員の記入項目」に把握した結果を入力します。

(b)入力した値は EXCEL のファイル保存機能で保存できます。 EXCEL のメニューから、

[ファイル]-[上書き保存]

又は、

ツールバーの 🖩 をクリックしてください。

く注意>

<u>把握票の保存先は変更できません。[名前を付けて保存]を実施した場合は本シス</u> テムの管理対象外となります。 (4)把握票の印刷

	licros	oft Exe	el-	ннн	H1 8.xls															
D	2		3 1	5 B	¥ X	B (2	- 0	ĸ) + (CH +	🔒 Σ 🗕	2↓ Z↓ 10 4 75%	• 🤉 🗸							
	ファイル	(<u>F</u>) 編	集(E) 表示	(⊻) 挿	入印 書	() 注書	y	-110	T F	-タ(0) ウ	インドウ(1) ヘルプ(1)					質問を)	いカしてくポ	1033 -	_ # ×
*	tha the		2		Bb @	***校開	1結果(的原信				* \$* 87 ·	• 12 • U ≡ 🖬	+.0	100 +	»	0 - 0	- 1		- 1
100		(D) - 1		+	<u>/</u> →(1)_				50 M	<u>م</u>	~ IAI -			1 100		•		el.		
	川らい副同語		15	7 - r 21	17.0/*	1 4					tol Like La									
	FI A	B D	D	F	Jx F	G	н	1	.1	к		м	N	D P	Q	B	S	Т	н	V -
1	丁事名称	OOI	5	-							-					#	REA-Z			
2						-											安容泉			
3								品	質管	管理計	画の把	握票(チェックリスト))							
4																				1
5	I#K90	1-1-1-1)	築	堤·護岸																
6	11 10 10	~~~~			-	-	_		-					-						
7	RI	認施												-						<u> </u>
8	一千英 能相	手状										管理基準及び規格値		-	監督職員の	己入項目				
10	項狀	時	Ħ											-						
11	- P 44	栁	*	しんいし2)	したべいしる)	11~14	備考				1		1	-		1				
12	予御		RR.									1714.14		求 起者 祖当者	千羞切な計画		教王			
13	স্								ज्ञ	數項目	試験方法	規格値	武樂泰準	12420	に対する影響	把握目	把理目			
14	۳																			
15	•			MAITI	Filler I.	Filler(124)			(MAI)	HANTE		Investory of the second se				_				
16									***	Louis		MHONELL,	SATURFALLEN'	_	-					
17									3:5	Pit.	215 ¥ 1216									
18			-			-	-		<u> </u>	+20000		が新知事にとる。	ちまたの十世の広わした時、	-						
19	-		-				-	-	-	教	JIS & 12N	教授初期に上記。	ちかえの上口のなむ」とめ、	-	-		-			
20	-								1	由料金 土の合水均	119 8 1246	が計切除にと た。	当然此は上間の成化した時,	-						
21	-					-	-			が使 土の物理論	112 A 1205	が新想事にと る。	当年上日の前代上日本,	-			-			
22									PTP-	泉-留行道 土の一時道	112 A 1219	20月1日来に上 B.	STARES TO BELLER,	-	-					
24	-								D.B.	土の当時道	土間修設の対法と構	が非想象に上た,	Bettiger,							
25									1	土の住また	JI2 & IZI7	が新想事にとれ。	Settor,							
26										1041.00	土間修設の対法と構成	(2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	Battant,							
27										土の建水純 教	119 A 1216	教師想事にとる。	Sercor,							
28																				
29														【育:0	\$#4:×>		1			
30																				
H ·	I F FI	「四道言	†曲]	把握/										WELF. A		. no. 111	1 (222) in (10) in	Al mi last	1	•
JA	215								_				2011日1日十下央小	WELE 1	中八 恨人 3	-015 (F	B MYA NET I	퍼뜨레		

把握票は EXCEL の印刷機能より印刷できます。 EXCEL のメニューから

[ファイル]ー[印刷プレビュー]

又は、

ツールバーの をクリックしてください。

印刷プレビューが表示されます。(次頁へ)



(c) 表示内容を確認後[印刷]ボタンで印刷します。

2.7 運用状況の把握に関する把握票の作成

(1)既存工事情報の検索

初期メニューより[既存工事検索]ボタンを押します。

	新規工事作成	祥工事 検索
設定		閉じる

「年度」「工事名称」「計画書版」の検索条件を入力します。

「情報検索			
年度	1		
工事名称	1		1
計画書版			
\langle	検索	夏天	
	検索	戻る	

※検索条件を指定しない場合は全ての工事情報が抽出されます。

[検索]ボタンを押します。

検索結果画面が表示されます。

半成16年度	<u>O×∆⊺</u> ≇	0	

.1

検索結果画面より当該工事を選択します。

検索結果	2
¥成16年度	<u>О×АТ</u> # 0
	選択 検索条件へ戻る

[選択]ボタンを押します。

把握票管理画面が表示されます。

把握票管理画面	5						×
年度	平成16年度	_					
工事名称	○×△工事				事名称変更		
計画書版	0			工事	情報のコピー		
 工事若书 	戶前 ○ 工事着手	後把握	票種別 📔	•		新規把握票作成	
大区分	工事区分 ▼	工種	1	動	細則(入力可)	把握票コメント(ファイル名)	
作成済み把					· -		
表紙(GT曲(トレーサビリラ 検査・測定)	ルピア) 「イ管理(計画の把持 及び試験装置管理 「赤(計画の把握)	屋) (計画				HC 表紙(FT画の)把握)XIS HC-トレーサビリティ管理(計画の) HC-検査・測定及び試験装置管 HC 内部見管整査(計画の)把握	巴握); 理(計
		河川改修	築堤·渡岸	词川土工 抗	洞工 据前(H	土砂) HH blank.xls	/
編集	Ę	削除		閉じる			

(2)工事着手後における新規把握票の作成

	把握票管理画面	×
	年度 平成16年度	
	工事名称 ○×△工事 工事名称変更	
(a) <u> </u>	計画書版 0 工事情報のコピー	
(a)—	○ 工事着手前 ○ 工事着手後 把握票種別 出来形 ▼ 新規把握票作成	
(b)	大区分 工事区分 工種 種別 細別(入力可) 把握票コメント(ファイル名) 河川改修 第堤・譲岸 河川土工 振削工 振削(土砂)	(c)
	(作成済み把握票 美紙(実施状況の把握) 「レーサビリティ管理(実施状況の把握) 「レーサビリティ管理(実施状況の把 検査・測定及び試験装置管理(実施 内部品質監査(実施状況の把握) KC 内部品質監査(実施状況の把握)	

(a)「**工事着手後**」を選択し、把握票種別を選択します。

(b)大区分~細別の工事項目を選択します。

(c)[新規把握票作成]ボタンを押します。

(d)把握票が作成され EXCEL ファイルとして出力されます。(次頁へ)

この「×」をクリックしますと、EXCEL自体が終了し、シ ステムも終了してしまいますので、ご注意ください。

la ta) 6 2	1 1 6	d 🐨	校開結果	の返信(©)	ربر، عرب را چ چ	Ð	* 1	1 •	BŢ	I E	≡ 國 1:8 Ⅲ • ↓) -	1.	2			ļ
A) В	•	fx D	E	FG	н	J	к	L	M	N	0	P	Q	R	S	т	U /	4
事名称	00 <u>1</u> \$														19	KE−1		1	
				-		出来形	管理実施状況	の把	握票	(チョ	:ックリ	スト)						1	-
							T											/	
孝区 分[レベル1>		植門·植智	植門·拔	ā¥					-							_/		+
											監督	職員の記。	入項目				/		_
町	工作 [レベル2]	188591 【レベル3】	加約 [レベル4]	編考	測定項目	規格値	-	僧	理基準)	良び規模	値						/		_
厭							記録を確認する範囲	測定 箇所	測定 基準	測定 項目	規格値	承認者 担当者	不適切な記録に対する指摘 事項(不適切な場合= 指示 内容等を記載する)	確認日	修正 確認日	p			-
	MMEL	Filler II.	Please (MSW)		****	±30													-
					14.50 H.S.	-220													
				-	021H	16.H 4.N	-			-			-		<u>/</u>				-
														1					1
			1					2				-							
	-			-										/		_			+
				-									/						+
			1																
				\vdash															+
			-	-						-									+
				+															+
													/						+
																			T

把握票シートを閉じると把握票管理画面に戻ります。

く注意>

EXCEL画面右上の×及び「ファイル(F)」メニューから「終了(X)」を選択すると EXCEL 自体を終了させ、本システムも終了してしまいます。御注意ください。

(3)把握票の編集



- (a)把握票管理画面より「工事着手後」を選択します。
- (b)「作成済み把握票」を1つ選択します。
- (c)[編集]ボタンを押します。
- EXCEL ファイルとして把握票が出力されます。(次頁へ)

			6	A #80 .	X 🗈	C	• 🚿	10-0	- 🐁 Σ 🔸 🤶	↓ Z↓	100 4	3 75%	•	Ø.					1		
1	P77/11	E) 編集	(E) 表	5⊼10	挿入 ①	큰	野式(Q)	り ツール(工) データ(<u>D</u>) ウィ	ンドウ		ブ田					質問	司を入力	してください		. 8 :
1	🏠 🏥 🖆		1	3 🔁 🍋	1 14	/ 校開	[結果(力远信(<u>C</u>)	* G	Ð	* 1	1 -	B	₫ 🛓	臺國 1:8 Ⅲ・4	🔊 - 🐥	1.	2	-		
	W30)	+	fx																	
	A	В	C	D	E	F	G	н	I J	К	L	м	N	0	P	Q	R	S	Т	U	-
-	 1 工事名称 	00 <u></u> 工事		_													19	kKB−1			-
-	2 7			-	-				ANY	- 101											-
-	3			-	-			出米形	管理実施状態	その把	握票	(チェ	ニックリ	ZN)							-
	4			-						-				-							-
	5 工事区分[レベル1)	-	插門·插管	植門・橋	ă۳				-		-									+
	6	-	-	-	1		-				_					-	_	-			-
\backslash	8								_				監督	職員の記	入項目						
	10	工 用 (レベル2)	яшя я (15-кора)	加約 [しべル4]	編本	測定	定項目	規格値	-	僧	理基準)	良び規格	値								1
	12 版								記録を確認する範囲		T			承認者	不通切な記録に対する指摘 事項(不通切な場合= 指示	確認日	修正	ÉD			+
-	13								-	測定	測定	測定	規格	担当者	内容等を記載する)	1.000					-
	14									8177	金 华	198	100								
	15	MAITE	REAL II	REAR(MSH)		* *	* * *	±30													
	16					14.86	oc tes	-210													
	17					•	02 1m	16.00-4.N													
	18																				
	19																				
	20			-																	
	21																				
	22									-											
	23	-		-					-	-		-									
-	24				-		_			-											-
-	25				-					_					-						-
	26		-	_					-	_							_				-
	27	-		-	-				-	-	-			-	-	-	-				-
	28	-		-		-			22		-	-		-							
	29			1	-	\vdash								-		-	-				-
-	30			-	-					-	-	-									-
	31																				

EXCEL ファイルとして任意の編集及び保存が可能です。

※工事名称及び[把握票管理画面]で設定した工事項目を把握票に出力します。

把握票へ把握結果を入力します。



(a)「監督職員の記入項目」に値を入力します。

(b)入力した値は EXCEL のファイル保存機能で保存できます。 EXCEL のメニューから、

[ファイル]-[上書き保存]

又は、

ツールバーの 🖬 をクリックしてください。

く注意>

<u>把握票の保存先は変更できません。[名前を付けて保存]を実施した場合は本シス</u> テムの管理対象外となります。 把握票を印刷します。

	Microso	ft Exce	I - KD	DK0104	10302	2.×I	s														
D	<i>i</i>	8		1 12 2	X @		L • 🤝	10-0	🗆 - 🍓 Σ - 🛃	Z.	10. 4	3 75%	-	2.							
	ファイル(<u>F</u>) 編集	(E) 表	πω :	挿入①) 1	書式(0)	ツールロ	D データ(D) ウィン	FOW		いプ(日)					質問	を入力し	てください		a ×
dain	MS	· Pゴシック	,	+ 11 ·	- B	I	U		≣ ፼ % ,	+.0 .00	.00		- 111	- 🕭 -	A	g »	0.	0	-		. »
范	W29	1	-	fx														-			-
	A	В	C	D	E	F	G	н	I J	К	L	М	N	0	P	Q	R	S	Т	U	
1	工事名称	00 I \$								_		_					Ħ	表式B-1			
2					-	-		电束形	管理宝施状识	の押	振雪	(· • • /711	75)							
4								шжля	日本天地八八	of all	1 2/3E 5T		-979.	217							-
5	工事医分[]	14.111)		植門·植智	插門·訪	ā¥															T.
6									1							-					
7	-								-				新聞	B A MEP	入酒日				_		
9									-												-
10	HH ا	IN	111.571	AU 591		30	宇頂目	根格值		-	[里基)(生)	为76根林	庙								
11	蓄版	[[~~][2]	[[~~][a]	[[~~][4]		100	~			-	T	1		承認者	不適切な記録に対する指摘	Destruction	修正				
12	-								1C3# 20#12 9 OPPLE	測定	測定	測定	規格	担当者	単項(小通切な場合= 指示 内容等を記載する)	DESCH	確認日	Elt			
14										留所	臺準	項目	値								-
15		MALTE	Film I	REARING A		-	* * *	±30	040	00	00										
16						14.86	94 1m	-39													<u> </u>
17					-		021m	18.8 - 4.N		-		-					-				
18	-					-															
20																					T
21																					
22					-	-	-			-		-	-	-			-				
23						-	_	0				-									
24																					1
26												2		-							
27						_						-		-							
28			-		-	-			-				-								-
29		出来形	状況確認	叉/	-									1.1						1	NIC-
דב	ンド	<u>mark/12</u>	N YOU UTU	1127 /										1.1				N	JM	- 1 -	
_																					

把握票は EXCEL の印刷機能より印刷できます。 EXCEL のメニューから

[ファイル]ー[印刷プレビュー]

又は、

ツールバーのなをクリックしてください。

印刷プレビューが表示されます。(次頁へ)

工事名称	:00 <u>T</u> \$	0				के यह म	《登昌明弥石	<u>م</u>	400 48	₹ ===	(1)		様	式B-1
工事区分	([~1]/1)		御小御宮	₩9.t	₽₽	шлл	2 日 柱 天 加 1八	06 00	9C 9/	¥ 	() #	99992	.17			
											監督]	職員の記入項目				
計画書	工業 (レベルZ)	経営 (レベルス)	編別 (レベル4)	備考	測定項目	規格値		管	理基準	及び規構	音値		不適切な記録に対する指		0.520	
嚴							記録を確認する範囲	測定 箇所	測定 基準	測定項目	規格値	7 本認者 担当者	摘事項(不適切な場合= 指示内容等を記載する)	確認日	確認日	ÉP
	MAI ±1	HM I	Pylef (m34)		****	± 39		00								
	-				e octa	925-										
					1.4.4											
_						-		-			-	-		-		
						· · · · · ·						_				
_			-			-		-						-		
						-					-					
_	-	-	0													

内容確認後[印刷]ボタンで印刷します。

2.8 段階確認代替時の把握票の作成(請負者の実施状況の把握)

段階確認代替時は、同一の工事項目について段階を変えて実施状況を把握しま す。このような場合は、把握票管理画面で工事項目の選択後、把握票コメントを入力 し段階の違いを識別できるようにします。

把握票管理画面	初回作成画面			×
年度 平成16年度 工事名称 〇×ム工事	1	工事名称変更		初回のコメント
計画書版 0 C 工事着手前 ・ 工事着手術 大区分 工事区分 河川政修 ・ 築堤・護岸 <u> 作成済み把握零</u> 表紙(実施状況の把握) トレーサ約ティ管理(実施状況の 検査・測定及び試験装置管理(3) 内部品質監査(実施状況の把握		工事情報のコピー 2 ▼ 私部川(入力可) I ▼ 「掘削(土砂) ▼	新規把握票作成 把握票コメント(ファイル名) 初回 KC 表紙(実施状況の把握)×k KC トレーサビリティ管理(実施状況の相 KC 検査:別定及り試験装置管理(実 KC」内部品質監査(実施状況の把握)	
編集 把提票管理画面 2回	^{削除} 目作成画面 □	開いる		×
年度 平成16年度 工事名称 〇×△工事 計画書版 0	* 护堤亜強化 <u>consubst</u>	事名称変更		2回目のコメント
大区分 工事区分 河川政修 「鎬堤・護岸	工種 種別 ▼ 河川土工 ▼ 掘削」	・ V 細別(入力可) に ・ 振削(土砂) ・	新規把握票TFbX 把握票コメント(ファイーち) 2回目	
「150%済かだ煙差。 表紙(実施状況の把握) トレーサビリティ管理(実施状況の 検査・測定及び試験装置管理(内部品質監査(実施状況の把握 15.0%7が主致)(人と表示主)		川十二 把刷工 把刷	KC 表紙(実施状況の把握)×ls KC トレーサビフィ管理(実施状況の把 KC 内に一サビフィ管理(実施状況の把 KC 内部品質監査(実施状況の把握) + zh)、KC 2010 z1c	
段階確認(代替時)	初回作成落		工が) KC_初回.xls	
編集	肖儿除	閉じる		

※把握票コメントはファイル名に付加され保存されます。

2.9 設計変更時の把握票の作成

(1)既存工事情報の検索

初期メニューより[既存工事検索]ボタンを押します。

新規工事作成	既存工事検索	

「年度」「工事名称」「計画書版」の検索条件を入力します。

事情報検索		
年度	[]]	
工事名称	1	
計画書版		
\langle		- 1
	快来 庆司	_

※検索条件を指定しない場合は全ての工事情報が抽出されます。

[検索]ボタンを押します。

検索結果画面が表示されます。

検索結果	×
)
選択 検索条件へ戻る	

検索結果画面より当該工事を選択します。

検索結果)
	-

[選択]ボタンを押します。

把握票管理画面が表示されます。

把打	握票管理画面	ō								×
	年度	平成10	6年度							
	工事名称	Ο×Δ	工事				工事名	称変更		
	計画書版	0					工事情	報のコピー		
	⊙ 工事着手	前〇日	事着手後	把握票	種別	•]		新規把握票作成	
[大区分	I	事区分 ▼	工種	-	種別	i T	細別(入力可)	把握票コメント(ファイル名)	
	作成済み把想		_	1 1		1				
	表紙(計画() トレーサビリテ 検査・測定及 内部品質監 品質)把握) イ管理(計 なび試験装 査(計画の	画の把握) 置管理(計画 把握)	河川改修	築堤·護/	卓 河川土工	掘削	工 掘削(土砂)	HC」表紙(計画の把握)×Is HC」トレーサビリティ管理(計画の把握): HC」検査・測定及び試験装置管理(計 HC」内部品質監査(計画の把握)×Is HH_blank.×Is	
	編集			削除		閉じる				

(2)計画書版の更新

現工事情報をもとに新しい計画書版の工事情報を作成します。

	把握票管理画面						×	
	年度	平成16年度						
	工事名称	 ○×△工事			工事名称変更			
	計画書版	1	>	\langle	工事情報のコピー	2	()	h)
(a) —	 「丁事着手」 	前 〇 工事着手後	把握票	種別	•	新規把握票作問	龙 ()	
	大区分	工事区分	工種	種別	細別(入力可)		名)	
	作成溶鬼把握	⊥ ≣		<u> </u>	<u> </u>			
	表紙(計画の トレーサビリテ 検査・測定及 内部品質監証	毎 把握〉 (管理(計画の把握) (で試験装置管理(計 を(計画の把握)	-画 河川改修	築堤·護岸 河川土工	- 掘削工 掘削(HC 表紙(計画の把握 HC」トレーサビリティ管理 HC 検査・測定及び話 HC 内部品質監査(語 土砂) HH blank.xls	i).xls 里(計画の把握); (映装置管理(計 十画の把握).xls	
	編集		削除	閉じる	5			

(a)「計画書版」を変更(入力)します。

(b)[工事情報のコピー]ボタンを押します。

工事情報のコピー	×
工事情報のコピーが完了しまし	た。
OK	\sum

工事情報のコピーの完了を伝えるメッセージが表示されます。[OK]ボタンを押してく ださい。1つ前の計画書版で作成された把握票がすべてコピーされます。 設計変更時は1つ前の計画書版で作成した把握票で変更された把握票を削除し、新 たに把握票を作成します。

2.10 その他の機能

(1)工事名称変更

	把	塩素管理画面 年度 工事名称 ○×△工事(設計変更1回目) 工事名称変更 工事名称変更 工事名称変更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称ので更 工事名称のでのでの。	
(a)		・ 工事若手前 ○ 工事若手後 把握票種別 ▼ 新規把握票作成 大区分 工事区分 工種 種別 細別(入力可) 把握票コメント(ファイル名)	(b)
		内部品質監査(計画の把握) HC 内部品質監査(計画の把握) AT AT HH blank xls HH blank xls	
		編集 削除 閉じる	

(a)把握票管理画面で工事名称を変更(入力)します。

(b)[工事名称変更]ボタンを押すと、工事名称が変更されます。

(2)把握票削除

把	握票管理画面	×
	年度 平成16年度	
	工事名称 ○×△工事(設計変更1回目)	工事名称変更
	計画書版 1	工事情報のコピー
	• 工事若手前 • 工事若手後 把握票種別	▼ 新規把握票作成
	大区分 工事区分 工種 種別 ・ ・ ・ ・ ・	細別(入力可) 把握票コメント(ファイル名)
	作成済み把握票 表紙(計画の把握) トレーサビリティ管理(計画の把握) 校査:測定及び試験装置管理(計画 内部品質監査(計画の把握) 記算 河川20(診 範堤・護岸 河川2)	HC 表紙(計画の把握)×ls HCトレーサビリティ管理(計画の把握)÷ HC 検査・測定及び試験装置管理(計 HC 内部品質監査(計画の把握)×ls HC 内部品質監査(計画の把握)×ls L工 掘削工 掘削(土砂) HH blank×ls
/		
	編集 削除 閉	108

把握票管理画面の「作成済み把握票」より把握票を選択します。 [削除]ボタンを押すと、把握票が削除されます。 (3)環境設定

初期メニューより[設定]ボタンを押します。

新規工事作成	既存工事検索

設定画面が表示されます。



- (a)データ保存先フォルダを指定します。(デフォルトではシステムのインストールディレ クトリが設定されています。)
- (b)工事名称、工事項目の把握表への自動反映を切り替えます。(デフォルトではチェ ックが入った状態になっています。)
 - ※「データ反映有無」にチェックを入れた場合、設定した工事名称及び[把握票管 理画面]で設定した工事項目を把握票に出力します。
- (c)[保存]ボタンを押すと、変更した設定が保存されます。

把握票記入例①-1(計画時表紙)

【参考例】



把握票記入例①-2(計画時表紙)

様式A-0(2)

ISO9001活	ISO9001活用工事 請負者の品質マネジメントシステム計画把握票 (チェックリスト)														
<u>工 事 名:</u>	<u>エ 事 名:</u> 平成16年度 〇〇工事														
マー ひ 監視機器及び測定 トレーサビリティ 不適合管理															
	機器管理計画	管理計画	是正処置計画												
実施者	ED														
実施日	H16.8.1	H16.8.1	H16.8.1												
備 考															

把握票記入例2-1(実施時表紙)

【参考例】



把握票記入例②-2(実施時表紙)

【参考例】

様式B-0(2)

ISO9001活用工事 請負者の品質マネジメントシステム運用状況把握票(チェックリスト)

<u>エ 事 名:</u>平成16年度 〇〇工事

NO	不適合管理 の運月	^县 、是正処置 月状況	段階確認	実施状況	請負者 検査実	iによる 施状況				
NO	実施者	実施日	実施者	実施日	実施者	実施日				
	(EI)	H16.10.1	—	—	_	_				
	EI	H16.12.1	_	_						
	EIJ	H17.2.1	_	—	_	_				
					<u> </u>					
	段	階確認通知	<u> </u> 印書で書類	」 「のやりとり	└──└	にない特殊	な工種用			
	を	している場け不要	合はチェッ	ク票の記		票を作成す	可能としてし	いる。		

把握票記入例③(出来形管理)

【参考例】

様式B-1

工事名称 平成16年度 〇〇工事

出来形管理実施状況の把握票(チェックリスト)

Τī	事区分(レ~	ベル1)		トンネル(]	トンネル(NAT)	M)	不適切な記録は、指示内容	があっ を記載	った場 [.] 成する。	合		「請負者の記録を確認した 日付を書き込む。 「 「 」 にの 」 にの 」 にの にの にの にの にの にの				事項があった場 が適切になったと確 付を書き込む。		
카											監督耶	観の記	入項目	\		FI 示 C	問題あって	
百 画 書 版	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	備考	測定項目	規格値		管理	理基準)	及び規構	各値		不適切な記録に対する推			/ 1	た問場題	
14							記録を確認する範囲	測定 箇所	測定 基準	測定 項目	規格 値	承認石 担当者	摘事項(不適切な場合= 指示内容等を記載する)	- 確認日	16 在認日	印 [1	合は修正	
	支保工	吹付工	吹付	CII	吹 付 け 厚 さ	設計吹付 け厚以 上。ただ 」 自好	NO36+6.1	0	×	0	0	0	測定間隔が41.2mで ある40m毎の測点を1 点とること	H16 H 10.1 1	117 0.2	ET 石 記	正確確認しし	
						し、 成分 な岩盤で 施工端 部、突出	NO38+2.7	×	×	×	×	×	測定されていない測 定するよう指示	H17 H 10.1 1	117 .0.3		。 た た 監 に 督	
						部等の特殊な箇所は設計の	NO42+7.3	0	0	○	$^{\circ}$	0		H17 10.1		ED F	印職を員の	
						わり厚の 1/3以 上を確保 するもの とする。							計画通りのす なっているか 〇、問題があ		当者に なけれ : ×	」 ば	すのを押す	
請るる	自者の 範囲、 』	記録を確	 認す 載す だ 	断面7	7箇所測気 :適切かを ればO、 を書き込	Eなどの測算 ·確認し問題 問題がある む。	定 40m毎に測定 定基準に問題 場 ば〇、問題が は×を書き込む		 測 合 	↓ 長さ、 定項目 ば〇、 は×を	高さ、「 目に問う 問題が を書きす	L 幅などの 題がな1 がある場 入む。	L D測 _ ±5cmなどの規 けれ _ 問題がなけれ 計 _ 題がある場合に - き込む。	⊥ !格値に ばO、問 は×を書			9 。	

把握票記入例④(品質管理)

【参考例】



工事名称 平成16年度 〇〇工事

内部監査実施状況の把握調査票(チェックリスト)



4 - 43



様式B-4

<u>エ事名称 平成16年度 〇〇工事</u>

									監督職員の記	入項目			
		把握項目	担当	承認				管理プ	方法				
計画書版		装置名称	者	者	記録の有無	校正の有効期限	使用前点検の有無	点検実施時期	把握記録名称	不適切な記録に 対する指摘事項	把握日	修正 把握日	把握印
0	光波跀	三離計	0	0	0	0	0	0	測定機器定期 点検表		H16.10.1	—	FD
0 ↑	オート 1	レベル	0	0	0	0	0	×	測定機器定期 点検表	8月定期点検の記録が見当たら ない→(H16.9.3実施)	H16.10.1	H16.10.8	(FI) ↑
								7			/		
	監視	機器及び測定機 を行う装置名称?	器の を記り		記録	するた の名和	こめに 称を話	:目を: 3入す	通した 「る。」の項目 「の項目」 があっ を記入	音~点検実施時期 目で、不適切な項目 た場合、その内容 、する。 入する。 人する。	が検査・測定 _{支置管理記} た日付を記		
+	する。									監督職員が指 が修正したこと みすろ	摘した事項 こを把握した	を請負者 日付を記	
										×× • • •			
 施 コ の 記 ノ	施工計画書(品質計画書) み改訂のバージョンNoを 記入する。												

監視機器及び測定機器の管理実施状況の把握調査票(チェックリスト)

【参考例】

様式B-5

<u>工事名称 平成16年度 OO工事</u>

							監督職員の記入	項目			
	把握	項目	品質	担当			管理方法				
計画書版	品名	規格	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	者	使用場所	使用時期	把握記録名称	不適切な記録に 対する指摘事項	把握日	修正 把握日	把握印
(鉄筋	SD295AD13~D	0	0	0	0	鉄筋集計表	_	H16.10.1	—	FI
(↑	鋼アーチ支保工 ↑	+	○	○	○ ↑	○	鋼アーチ支保工 集計表	担当者印もれあり→(試験写真 で確認)	H16.10.1	H16.10.8	(FI)
							把握するために 録の名称を記入	 目を通した記 → 監督職員がト 、する。 理記録を把挑	レーサビリ ⁻ 軽した日付を	ティ管	
╞							担当者~使用 不適切な項目 の内容を記入	時期の項目で、 監督職員 があった場合、そ が修正し、 する。 入する。	が指摘した たことを把握	事項を請負 した日付を	者 記
╟									把握時(一た監督戦 問題あっ	こ問題なけれ 載員の印を打 った場合は、	ιば、把握し ₱す。 修正確認し
 施コ バー	ノ トレーサビリティ ニ計画書(品質計画 -ジョンNoを記入す	現格がある場合 管理を行う品名を 回書)の改訂の する。	に記	人する。 する。 施工	5。 使 担当	 使用 用し オ	1時期が記録から た場所が記録から	わかるかを把握し、問題なけれに わかるかを把握し、問題なけれい いるか把握し、問題なければ〇	175時に ばO、問題あ ばO、問題 、問題ある場	122779。 つる場合は× ある場合は 高合は×を調	を記入する。 ×を記入する 2入する。

トレーサビリティ管理実施状況の把握調査票(チェックリスト)

0 品名の受入検査は計画どおりに実施されているかを把握し、問題なければO、問題ある場合は×を記入する。



様式B-9

工事名称 平成16年 〇〇工事

不適合管理、是正処置運用状況の確認票(チェックリスト)

		監督	職員の記入	、項目			
計画書版	把握項目	確認書類名称	記載の 有無	指摘事項	確認日	修正 確認日	確認印
1	不適合が発生した場合、計画した不適合製品 管理手順に基づいて、処置がなされているか	品質計画書 不適合品処理報告書	0	二次製品の厚み不足という不適合が発 生手順通りの処置がなされている。	H16 10.1		Ð
1	不適合の原因究明が適切であるか	不適合品処理報告書	0	適切	H16 10.1		Ē
1	不適合処置、是正・予防処置の内容は、今後 不適合製品の発生を防止する適切なものか	不適合品処理報告書	×	今後の不適合を発生する処置にはなっ ていない。工場での出荷時の検査の徹 底の問題が残るので、是正されたい。	H16 10.1 ↑	H17 10.5	€ ●
	記載された内容、把握項目に記載されて 満足されていれば〇、不十分であれば×	ことが 本適合処理執 あれば、記入	またいでででです。 する。	認して、指摘事項が	商合の管理 を記入する	記録 。	
				」 「監督職員が指 が修正したこと	 摘した事項を を把握した	Ⅰ £請負者 ∃付を記 _	
				入する。			
	地握時に問 監督職員の 問題あった 時に印を押	_{超なけれは} 印を押す。 場合は、修I す。	、 把握した E確認した				

3. サポート連絡先

本システムに障害が発生した場合やシステムの内容についての連絡は下記までお願いします。

財団法人 先端建設技術センター 先端建設技術研究所 研究第一部、研究第三部 担当者

郵便番号 112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6

TEL: 050-3085-6115 03-3942-3993 FAX:03-3942-0424